



## スクールバス安全講習会

川崎市で5月にスクールバスのバス停で児童らが殺傷された事件を受け、6月12日(水)、スクールバスの運転手、添乗員、添乗する教員らを対象に、安全講習会を開き、多治見署の生活安全課より講師を招き、刺股(さすまた)と防御盾の使い方を学びました。多治見署員からは、「犯人の捕獲よりも、威嚇(いかく)、けん制して、子どもが逃げる時間をかせぐことが大切」と教わりました。こうした訓練を定期的に行い、「いつ何が起こるかわからない」という危機意識をもっていなければならないと思いました。あのような事件が起きたとき、私たちに何ができるかわかりませんが、私たちにはく子どもの命を守る

>という大きな責任を背負って仕事をしていることを、もう一度全職員で確認したいと思います。

刺股は12日からバス内に配備、防御盾は県より届き次第配備します。



## 中学部 作業学習集中週間

6月10日(月)～14日(金)、中学部は「作業学習集中週間」でした。生徒たちは、5日間午前中、作業学習に集中して取り組みました。

中学部では、作業学習の授業(2時間)が週に2回あります。小学部から中学部に進学して、子どもたちが初体験するのが、この作業学習です。上級生と一緒に、窯業、木工、農園芸・クラフト、基礎作業など、いろいろな作業に取り組みます。



今回も作業所に勤めているような雰囲気の中で、それぞれが課題をもって真剣に取り組んでいました。この作業学習が、高等部の作業学習、そして、就労に向けての現場実習につながっていきます。社会に向けての第一歩が、中学部の作業学習から始まっています。